

第24回みのわ未来委員会 会議要録

日時：令和2年11月6日（金）13時25分～15時20分

会場：大会議室

参加者：委員7人（欠席：柴委員、高橋委員、中村委員、野澤委員、矢島委員）

町長、副町長、事務局3人（企画振興課）

傍聴人数：1人（唐澤敏町議）

報道機関：2人（みのわ新聞社、長野日報社）

1 開 会 （毛利企画振興課長）

2 会長あいさつ

昨年度の評価を行うこと、私たちの評価につきましても今回で3回目。任期でいうと最後です。来年度の予算編成に向けてそれぞれの立場でご意見をいただきたいと思います。

コロナの影響は振興計画の進捗に影響を与える。ウィズコロナはまだまだ続いていくので、アフターコロナのことを考え、コロナ関連施策を考えていただきたい。

3 町長あいさつ

久しぶりの開催になった。今年はコロナで始まり、コロナで終わる印象。コロナは生活へ大きな影響を与えている。町も実施ができない事業があり大きな影響が出ている。

産業への影響は、製造業はまずまずだが、サービス系は壊滅的な印象。コロナの今後の対応をどうしていったらいいかと考えているところ。

住民のマインド（消費やサービスに対する）が上がってこない状況。事業でやるべきことはやろうと進めているが、うまくいっていない。年末に向けてサービス系をどう動かしていくか皆さんの協力をいただきたい。

また、人口は昨年からの下降局面と相まって転出が増えている。少子化が進んでいる。出生数が減っている。横ばいの歯止めがかからない。施策をすることで歯止めをかけ人口減少を遅らせたい。

アフターコロナがどのような世界になるかわからない。振興計画は半年以上の遅れになってしまうが、皆さんの意見を聞いて進めていきたい。よろしくお願いします。

4 協議事項（進行 小口会長）

（1）箕輪町第5次振興計画の進捗と評価について（資料1に基づき事務局から説明）

沖村委員）

4-③の産業のマイナス36%は、そもそもの設定基準が高いのか、単純に伸びていないのか。

小笠原係長）

2015年が基準年・ピークだったため、こういった数値になっている。

白鳥町長）

町内主要6社が少しマイナスになると全体数値への影響がある。伊那市、駒ケ根市は食品産業が入ってきている。箕輪町は車やIT系。産業のどこを主軸にやっていくか考える必要がある。土地を誘導することが難しい。土地の調整が企業の展開スピードに間に合わない。

沖村委員）

食品産業は景気にあまり左右されない。ニーズがあったとき食品産業を誘致できればいい。

木村副会長）

都会の企業はアフターコロナで地方に出てくる話は多いと感じている。町で土地等を用意できれば誘致の可能性はある。

小笠原係長）

4-③農業出荷額は、にこりこの売上高で評価している。今年3月に閉鎖になっているため、1か月分の売上げが無いので、マイナス分が増えた。

沖村委員）

3-②妊娠・出産の支援事業は紐づいていないのか

小笠原係長）

4つの事業から2つの指標で見ている

沖村委員）

妊娠・出産の支援事業は国の事業を取り入れながらやってもらいたい。

白鳥町長）

町は20代の女性が少なく、初婚年齢も上がっている。就職で外に出た人たちを転入できるように考えていく。合計特殊出生率を1.7までは上がってきているが、近隣はもう少し高い。

小松委員)

同窓会補助金について、成人式などを活用しているみたいだが、社会体育の団体で一緒だった等の集まりを対象に入れるのはどうか。

小笠原係長)

補助金の対象拡大を検討する。

小口会長)

同窓会補助金の周知はどうなっているか。

毛利課長)

周知は足りない。町外にいる箕輪町出身の皆さんにはこういった施策の一覧を通知などでお知らせしていきたい。

沖村委員)

飲食店に周知するのはどうか。

毛利課長)

検討させていただく。

山中委員)

4-②が項目が空欄。前回指摘したはずだが。

小笠原係長)

前回から落ちていて申し訳ない。面積等の指標があるので、お示しするようにします。

小口会長)

矢島委員から意見については何かあるか⇒全体：なし、了

沖村委員)

同窓会の補助金もだが、利用者が少ない補助金などうまく予算と執行が合っていない事業はさらにPRするか別事業への転換を。

白鳥町長)

第5次振興計画以降、事業補助金を多くした。産業の部分は特に増やした。3年経ったので、再検討する。スクラップ&ビルドしていく。

また税込だが、令和3年は4億円くらい税込下がると予測している。個人住民税や法人住民税など、所得や企業収益が減っている。不足分は交付金で補填されるはずだが、国も交付税全体が減れば町への交付金も減る可能性がある。住民も痛みが伴うこともあるかも知れないが、分

からない。

小口会長)

令和2年度当初予算について、財政調整基金を取り崩している予算だったが、今後も続く想定か。

白鳥町長)

令和2年度も当初は予算の体系上盛り込んだが、交付金があり最終的に基金は取り崩さなくてよさそう。コロナ関係で4億円使ったが、交付金でほぼ賄えた。ただ来年度は分からない。交付税と特別交付税は実績で遅れての歳入となるため、当初は、財政調整基金を盛らざるをえない。

小松委員)

先日、月刊かみいなに免許返納特典の上伊那一覧に載っていた。町の取組は良いと思うが、他の市町村よりかなりの好条件なので内容を下げてもいいのでは。

また、保育園に看護師の配置は難しいか。保育士ではケガの対応で分からないところがある。加えて、園の掃除とかは単価の良い保育士ではなく、ほかの人材を使うのもいいのでは。

白鳥町長)

人件費は、比率が上がってきた。非正規雇用のところは、他の町村の比較などを行っている。看護師までは難しいと考えている。

小松委員)

安心して子供を預けられると転入のきっかけになる。→町長：了

木村副会長)

結婚支援事業について、周りの人や後継者の方が結婚していない。近隣の企業も独身女性がいる。難しいかもしれないが、事業者と絡んで結婚事業を進めていければ。長い目で見ると必要な取組と思う。

白鳥町長)

なかなかいい施策が見つからない。

木村副会長)

従業員は、会社に来て家に帰るだけ。ほかの会社の人が集まれるようなもの、働きかけがあれば。イベントのような。結婚事業と謳わないような形で。

白鳥町長)

婚活については、経済的な支援ということではないと感じているが、個人的な部分に入り込

み過ぎて、その人の生活が崩れてしまうのもどうかと考えている。

沖村委員)

飲み歩きなど商店街とタイアップするのもいいのでは。

山中委員)

20歳の娘いわくマッチングアプリが当たり前。だが、町が狭すぎて身元がバレることが懸念。会社同士で合コンをやると身元がバレないし良いと言っていた。

木村副会長)

銀行でもそういった複数の集まりあれば行くという声ある。

山中委員)

不妊治療についてはどうなっているか。

小笠原係長)

県の制度の上乗せしている。R01実績11組240万円

白鳥町長)

補助金活用的人数伸びている。着床も6割くらいあると聞いている。不妊症、不育症の施策はやっていく。

山中委員)

不妊治療に関する知識やサポート、フォローを行政が行ってくれればいいのか。また、世代間で不妊症について認識に差異が大きい。年齢層が上の方は不妊治療がタブーのような認識。せっかく国が動いているところに町が追い付けるか。治療を諦める勇気など、その先の里親制度もある。若い世代に寄り添う制度、仕組み、支援があれば。

沖村委員)

常会加入率を向上させるために新しい施策はあるか。

小笠原係長)

会議体を作ったが、事業できていない。防災マップの作成などの動きで、常会に入ってきてほしいという思いはある。

沖村委員)

集合住宅のようなところはオーナーが入るような取り組みや、スーパーの割引などあるが。

小笠原係長)

区によっては区費の額など差異がある。区に協力してもらいながら加入率を上げたい。

重盛委員)

中小企業だと人材・求人がうまいこといかない。特に専門職。ハローワークに頼っているが、良い人材は少ない。行政と連携・タイアップして、大学新卒の人を呼び込みたい。中小零細企業が集まって、複数社で都会の人を呼べるような就活周知・イベントができれば良い。→検討する。

(2) まち・ひと・しごと総合戦略の進捗と評価について (資料2)

沖村委員)

内部評価って順調が一番上か。順調よりいい評価をしても良い項目もあるが。

小笠原係長)

3種しかないので、順調の上はない。

(3) 地方創生推進交付金の評価について (資料3)

沖村委員)

評価の順位はどうなっているか。

小笠原係長)

評価が高い順に、非常に効果があった⇒効果があった⇒相当程度効果があった⇒努力が必要

(4) 第5次振興計画の見直しについて (資料4～6)

- ・新型コロナ関係施策の評価
- ・アフターコロナに向けた施策について

沖村委員)

DX や ICT について富士見町とかは東京からの人材を受け入れている。コワーキングスペース等を作れば住みやすい町になるかも。

富士通の各地域の支社は、地域の大学生を獲得するため設置していたが、テレワークで仕事ができるため、地域の支社は閉じた。コワーキングの環境必要。役場にも ICT を取り入れていければ良い。

山口課長)

コワーキングスペースについて、現在拠点整備計画を進めている。旧東部診療所をコワーキングとかの受け皿として準備している。

白鳥町長)

市町村がいろんな働き方・ハードを作っているが、なかなか東京一極集中は崩れないと考えている。旧東部診療所は、面積が広いので、オフィスやコワーキングや少し休憩できるようなスペースになる予定。

中村委員)

お金をかけていい施設を作る必要ない。空き店舗や空き工場を簡単に改装するだけで良いのでは。

小松委員)

保育園の件で、水道の蛇口がひねるタイプで、子どもが開けにくかったりコロナ対策で改善余地ある。センサー感知のユニバーサルデザインへ。

小笠原係長)

小中学校は蛇口を改善した。保育園も進める。

山中委員)

報道で聞いたが、結婚式が開けず出生も遅れている。箕輪町も結婚件数は減少しているのか。

白鳥町長)

箕輪町はコロナだけの影響だけではなく減っている。

重盛委員)

みのわ祭りについて、町としてはどのような感じでやっていくのがいいか考えはあるか。

白鳥町長)

夏祭りのようなものはどうなっていくのか分からない。実行委員会で検討して知恵を貸していただければ。

(5) その他

特段なし

5 その他

特段なし

6 閉会 15時20分 終了

次回委員会→令和3年2月頃を予定